

(解答例および出題意図)

I -1 (35 点)

彼は自分自身の儲けを意図しているだけだし、彼はこの場合、他の多くの場合もそうであるように、見えない手に導かれて、彼の意図のなかにまったくなかった目的を推進する。それが彼の意図のなかにまったくなかったということは、かならずしもつねに社会にとって悪いのではない。自分自身の利益を追求することによって、彼はしばしば、実際に社会の利益を推進しようとする場合よりも効果的にそれを推進する。

出題意図：有名なアダム・スミス『国富論』（1776 年）での「見えない手」に関する叙述を理解し訳すことのできる力を示していただく。

I -2 (10 点)

① market price ② effectual demand

出題意図：『国富論』で言われている、供給・需要の割合によって「市場価格 market price」が決まること、その需要を厳密に言う「有効需要 effectual demand」であること、これらを理解していることを示していただく。

II-1 (35 点)

私は現在、利子率に影響を及ぼそうとする単なる貨幣政策が成功するかどうか、いくらか疑いをもっている。私は、資本財の限界効率を長期的な観点から一般的・社会的利益を基礎にして計算する立場にある国家が投資を直接的に組織するためにますます大きな責任を負うようになることを期待している。

出題意図：J.M.ケインズが『雇用・利子および貨幣の一般理論』（1936 年）において、貨幣政策（利子率の操作）だけでは不十分であり、国家による投資（公共投

資) も重要であるとしたことを、理解し訳すことのできる力を示していただく。

Ⅱ-2 (10 点)

① *Employment* ② *classical*

出題意図:『雇用・利子および貨幣の一般理論』の名称が英語で言える力があること、またケインズのその主張がこれまでの「古典派の *classical*」理論への批判であることを理解していること、を示していただく。

Ⅲ (10 点)

I A. Smith II J.M. Keynes

出題意図: I および II で引用した文章の内容がそれぞれ A.スミスと J.M.ケインズの典型的な議論であることを理解し、それぞれの著者名を言える力を示していただく。